

アクティブラーニングの研究

1 単元名 PROGRAM 3 The 5 Rs to Save the Earth

日常の身近な場面で私たちが環境を守るために何ができるかを考える。

2 単元の目標

- (1) 間違いを恐れずに学んだ英語を用いて積極的にコミュニケーションをとろうとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (2) 新出文型を適切に使うことができる。また、環境を守るためにできることを発表することができる。 【外国語表現の能力】
- (3) 各セクションの本文や友だちや ALT が話す英語の内容を理解することができる。 【外国語理解の能力】
- (4) 新出文型を理解できる。 【言語や文化についての理解】

3 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての理解
① 積極的に対話しようとしている。 ② 積極的に友達と意見を交換しながら1つの英文を完成させることができる。	① クラスの友だちと対話して、得意なこと、苦手なこと、楽しいことを聞いて、それを英語で書いて表現できる。 ② how to, where to などを使って自分が知っていることを5文書くことができる。 ③ 5文程度のメッセージを書くことができる。	① 語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。 ② 10文の依頼文が書かれたプリントを読み、内容を理解することができる。 ③ 5Rについて書かれた英文を理解することができる。	① 正しい語順を用いて文を構成する知識を身につけている。

4 単元指導計画と評価計画(8時間扱い)

次	時	主な学習活動	評価の観点				評価規準 〔評価方法〕
			関	表	理	知	
一	1	It is ~(for + 人) to...を理解し、得意なこと苦手なことなどを表現することができる	○	○		○	積極的に対話しようとしている。〔観察〕 正しい英語で書いている。〔記述分析〕
	2	粗大ゴミの山からリサイクルについて考える内容を理解することができる			○		内容を理解している。〔観察・記述分析〕
二	1	how to ~, what to ~を理解し、「私が知っていること」を発表することができる	○			○	正しい英語で書いている。〔記述分析〕

	2	"refuse"に関する内容を読み取ることができる			○		内容を理解している。〔観察・記述分析〕
三	1	ask (tell) ～(人)to... を理解し、依頼文を読み取ることができる	○		○		依頼文を理解している。〔観察〕
	2	"repair"に関する内容を読み取ることができる			○		内容を理解している。〔観察・記述分析〕
四	1	5 Rに関する具体的な活動についての英文を読み、ペアと意見交換ができる。			○	○	英文の内容や相手の発言を理解している。〔記述・観察〕
	2 本時	ALTに配布する廃品回収のお知らせ文書に載せる英文のメッセージを考え、発表できる	○	○		○	グループで1つのメッセージを完成することができる。〔発表・記述分析〕

5 研究主題

確かな学力の育成を図る指導法の工夫

～ ICT 機器の活用と協同学習を取り入れた授業展開の工夫～

6 指導上の立場

(1) 単元観

reduce, recycle, reuse, refuse, repair の5つの Rに関する英文を読み、日常の身近な場面で私たちが環境を守るために何ができるかを具体的に考えさせることをねらいとする。

(2) 生徒観

本学級は、男子8名、女子15名の少人数学級である。大きな声で音読するなど意欲的に学習できる生徒もいるが、英語に苦手意識を持つ生徒も多い。特に、長文読解やまとまった英文を書くことが苦手な生徒が多い。そこで、内容の読み取りや自己表現の活動に、協同学習を取り入れ、自分の意見を言ったり、他の意見を聞いたりすることで、苦手意識を克服し、学ぶ意欲を高めることができると考える。

(3) 研究主題との関連

本校では、伸ばしたい「確かな学力」を基礎基本の知識と自ら学ぼうとする意欲と定め、授業に取り組んでいる。本時では、繰り返し5Rの具体的な行動の英語表現に触れさせることで、基礎基本の知識を身につけさせることができると考えた。また、実生活に関わる課題に取り組みせることで、自ら学ぼうとする意欲を持たすことができると考えた。

また、ペア学習や1グループが3、4人からなる「協同学習」を取り入れ話し合いや教え合いを通して、主体的な学びができると考えた。

そして、ICT機器を活用することで、話し合いや発表を効果的に進めさせたい。

7 本事案（第4次2時）

（1）本時の目標

- ・ ALTに配布する廃品回収のお知らせに、英文のメッセージを書き加えることができる。
- ・ 積極的に自分の意見を述べたり、友達の意見を聞いたりすることができる。

（2）展 開

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 挨拶や天気や曜日について答える 2 授業の流れを確認し本時の見通しをもつ 3 Warm Up 与えられたテーマについて、1分間ペアで会話をする 4 5Rについて自分がしていることや今後したいと思うことを発表する 5 本時のめあてを確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で挨拶することで英語学習の雰囲気をつくる。 ・ 既習の言語材料を用い、より長く会話が続けられるようにさせる。 ・ 前時のワークシートを使い、身近な取り組みの英語表現を復習させる。 ・ 発表させることで自分の問題として捉えさせる。 ・ ALTが話すことで、より課題を実生活に関連づけ、活動に対する意欲を高めさせる。 	積極的に会話しているか【観察】
新見在住の ALT に廃品回収の文書を配布し、協力をお願いをします。習った表現を使ってメッセージを完成させましょう。		
6 英語でメッセージを書く （1）話し合いの手順を聞く （2）個人の意見をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いがスムーズに進むよう話し合いの手順を確認させる。（IWB） ・ グループで意見発表ができるように、自分の意見をまとめさせる。 	英文を書くことができる 【ワークシート】 （B）自分の考えを3文程度の英文で書くことができる。

<p>(3) グループで意見をまとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進行役、記録係（TPC）、発表者を決めさせる。 ・話し合いが進まないグループには、他のグループを参考にさせたり、参考とすべき既習表現を示したりする。 ・Drop Box に提出させ、時間のある班には、発表練習をうながす。 	<p>自分の意見が発表できている【観察】 他の意見を尊重しながら話し合いを進めている【観察】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(B) 話し合いに参加し、意見を発表することができる。</p> </div>
<p>7 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB に廃品回収の文書を映しながら、グループの意見を発表させる。 	<p>5文程度の英文を発表している 【ワークシート・観察】</p>
<p>8 学習の振り返りをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに記入させる。 	<p>【振り返りシート】</p>
<p>9 学習内容のまとめをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT は、メッセージについて感想を伝える。JET は、話し合いの様子を振り返り、次回の協同学習につなげる。 	

おおむね満足できるとした生徒の姿 (B)

TPC・・・タブレット端末

IWB・・・電子黒板